

令和 2 年 2 月 5 日

福島大学環境放射能研究所第 6 回成果報告会 開催のお知らせ

本学環境放射能研究所は平成 25 年 7 月に設立され、環境中へ放出された放射性物質の挙動や影響について研究しています。そしてこの度、第 6 回目となる成果報告会を下記のとおり開催いたします。

本会は 2 日間にわたって開催され、1 日目には専門家を中心とし、2 日目には市民の方々を対象としたプログラムを設定しました。特に 2 日目の市民の方に向けたプログラムでは、開催テーマを「チェルノブイリから学ぶ福島環境」とし、当研究所がこれまで SATREPS プロジェクトにより行ってきたチェルノブイリ原子力発電所事故後の環境調査から見てきた福島環境のこれからについてお話しします。

福島第一原子力発電所の事故から 10 回目の 3 月を迎えます。科学的な視点から、福島現状を知る機会としていただければと思いますので、事前の周知と当日のご取材よろしくお願ひします。

記

日 時：令和 2 年 3 月 10 日(火) 13:00～17:00 (口頭発表)
令和 2 年 3 月 11 日(水) 9:00～16:30 (午前ポスター発表/午後シンポジウム)

場 所：コラッセふくしま (福島市三河南町 1 番 20 号)
4 階多目的ホール (口頭発表会場)
3 階企画展示室 (ポスター会場)

発表者：福島大学環境放射能研究所 所属教員
連携研究機関 (ポスター発表)

申 込：参加無料・当日参加可能
当日参加可能ですが、会場の設営準備のため、事前のお申し込みを受け付けます。環境放射能研究所のホームページをご覧ください。
URL: <http://www.ier.fukushima-u.ac.jp>

(お問い合わせ先)
環境放射能研究所事務室
電話：024-504-2114 FAX：024-503-2921
メール：ier@adb.fukushima-u.ac.jp



福島大学環境放射能研究所

第6回 成果報告会

6th Fukushima University IER Annual Symposium

2020

3/10-11

火

水

会場 / コラッセふくしま
4F多目的ルーム・3F企画展示室

お問合せ 福島大学環境放射能研究所

TEL 024-504-2114 E-mail ier@adb.fukushima-u.ac.jp

参加費無料

3/10 火 13:00~17:00
口頭発表(英語)

9:00~12:00

ポスター発表

3/11 水 13:00~16:30
シンポジウム

シンポジウム

市民の皆様に向け、分かりやすくお話しします。

チェルノブイリから学ぶ 福島環境

Fukushima Environment
from Chernobyl Perspective

3/11 水
13:00~16:30

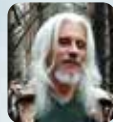


シンポジウムプログラム



チェルノブイリと福島との環境放射能分野の
共同研究

福島大学共生システム理工学類 教授 難波謙二



チェルノブイリと福島の森林：
放射性セシウムの循環移動

福島大学環境放射能研究所 特任教授 ヨシエンコ・ヴァシル



チェルノブイリ周辺地域における小児甲状腺
がんの特徴、および福島との相違について

長崎大学 教授 高村 昇



チェルノブイリと福島における河川網を介
した放射性物質の動態

福島大学環境放射能研究所 プロジェクト研究員 五十嵐康記



福島とチェルノブイリ：土と水の中の放射性
核種の動き、似ていることと違うこと

福島大学環境放射能研究所 教授 コノプリョフ・アレクセイ



チェルノブイリと福島第一原発事故後の
海洋環境中の放射性セシウム濃度の変遷

福島大学環境放射能研究所 特任准教授 高田兵衛

主催



後援

福島県、筑波大学、広島大学、長崎大学、東京海洋大学、
福島県立医科大学、国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構・
量子医学・医療部門 放射線医学総合研究所

第6回福島大学環境放射能研究所成果報告会

本成果報告会は、2011年の東電福島第一原子力発電所の事故後、2013年に設立された福島大学環境放射能研究所の研究成果について、学外(地域の方や放射能研究の専門家等)へ向けて報告し、参加者との意見交換を通して研究成果が地域還元され、今後の研究発展につながるよう開催するものです。

2020

3/10^火-11^水

会場 コラッセふくしま
4F多目的ルーム・3F企画展示室
福島県福島市三河南町1番20号

3/10 [火] 口頭発表(英語)

時間 13:00-17:00 (受付12:30~)
会場 コラッセふくしま4F 多目的ホール
対象 専門家 ※どなたでも聴講いただけます。
使用言語 英語 ※通訳なし
プログラム 詳細はHPにて随時発表

3/11 [水] ポスター発表

時間 9:00-12:00 (受付9:00~)
会場 コラッセふくしま3F 企画展示室
対象 どなたでもご参加可能
※発表者と直接お話しいただけます。
使用言語 英語/日本語(発表者による)
プログラム 詳細はHPにて随時発表

3/11 [水] シンポジウム

時間 13:00-16:30 (受付12:30~)
会場 コラッセふくしま4F 多目的ホール
対象 どなたでも聴講いただけます。
使用言語 日本語(英語は逐次通訳付き)
プログラム 下記参照

シンポジウム (市民の皆様に向け、分かりやすくお話しします。)

チェルノブイリから学ぶ福島環境

これまでの調査研究を基に、チェルノブイリから見てきた福島の現状と未来について科学的な視点からお話します。

Fukushima Environment
from Chernobyl
Perspective

プログラム

13:00-13:05	開会挨拶	中井勝己	福島大学 学長
13:05-13:10	概要説明	塚田祥文	福島大学環境放射能研究所 所長/教授
13:10-13:35	チェルノブイリと福島との環境放射能分野の共同研究	難波謙二	福島大学共生システム理工学類 教授/ 環境放射能研究所 兼務教員
13:35-14:00	チェルノブイリ周辺地域における小児甲状腺がんの特徴、および福島との相違について	高村 昇	長崎大学 教授/福島大学環境放射能研究所 副所長
14:00-14:35	福島とチェルノブイリ：土と水の中の放射性核種の動き、似ていることと違うこと	コノブリョフ・アレクセイ	福島大学環境放射能研究所 教授
14:35-14:45	休憩		
14:45-15:20	チェルノブイリと福島の森林：放射性セシウムの循環移動	ヨシエンコ・ヴァシル	福島大学環境放射能研究所 特任教授
15:20-15:40	チェルノブイリと福島における河川網を介した放射性物質の動態	五十嵐康記	福島大学環境放射能研究所 プロジェクト研究員
15:40-16:00	チェルノブイリと福島第一原発事故後の海洋環境中の放射性セシウム濃度の変遷	高田兵衛	福島大学環境放射能研究所 特任准教授
16:00-16:25	総合討論		
16:25-16:30	閉会挨拶	高橋隆行	福島大学共生システム理工学類 教授/ 環境放射能研究所 副所長

お問合せ

福島大学環境放射能研究所

TEL 024-504-2114 FAX 024-503-2921
E-mail ier@adb.fukushima-u.ac.jp

https://www.ier-f.com/

IER成果報告会

検索

事前参加申込みは特設ページからお願いします。



【参加申込書】第6回福島大学環境放射能研究所成果報告会

※インターネット環境がない場合は、FAXにてお申し込みください。

ふりがな			
氏名			
住所	〒		
所属先			
参加希望日	<input type="checkbox"/> 3/10 口頭発表(英語) <input type="checkbox"/> 3/11 ポスター発表 <input type="checkbox"/> 3/11 シンポジウム (複数選択可能)		
連絡先	電話	FAX	携帯
E-mail			次回報告会案内について <input type="checkbox"/> 要 <input type="checkbox"/> 不要